未来の科学者第二回講座課題 (7月7日, 担当:鈴木有祐)

番号() 氏名(

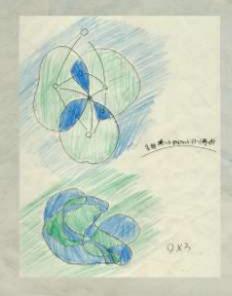
「2色で塗れる地図」&「3色で塗れる地図」のうち、気に入ったものを提出する。
 (コピーを取ってもらってから色塗りもしてみよう。)

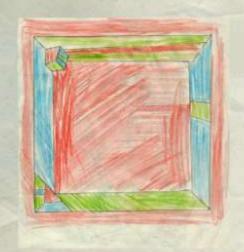
提出された2枚の図を縮小したものを最下段に示した

2. 「2色で塗れない地図」にはどのような特徴があるか? (どのような構造を含むと2色で塗れなくなる?) もし気がついたことがあれば書いてください。

多領域の辺の数か会数

- 3.「地図がこのような構造を含むと3色で塗れなくなる」というものを1つ挙げよ。 そのようなものの特徴がわかれば書いてください。 名句は文のようの表文というというものを1つ挙げよ。
- 4. 本日の講義に関する感想と考察を1ページ以内にまとめる。
- 図とても難かしるうたったか、分かりかえ教えてもらえたのでよかった、作回か面白るく、きまりがなるのにはまとういた。
 金寅は四色問題のきまりを目がて考えてみたい。





未来の科学者第二回講座課題 (7月7日,担当:鈴木有祐)

番号()氏名(

「2色で塗れる地図」&「3色で塗れる地図」のうち、気に入ったものを提出する。
 (コピーを取ってもらってから色塗りもしてみよう。)

最下段に提出された3枚の図を縮小して示した

2. 「2色で塗れない地図」にはどのような特徴があるか? (どのような構造を含むと2色で塗れなくなる?) もし気がついたことがあれば書いてください。

線の交点が出る線が奇数本ではる場合。

- 3. 「地図がこのような構造を含むと3色で塗れなくなる」というものを1つ挙げよ、 そのようなものの特徴がわかれば書いてください。
- 4. 本日の講義に関する感想と考察を1ページ以内に主とめる。

「四色定理」というものは耳にしたことがありました。しかし、そのことについて本格的に学ぶ経験は初でした。

実際に色がけを行ったり、自分で地図を作って考えていくのは分がりやすく、楽しかったです。

特に、地図の塗り分けを、双対グラフ」や「集合」として考えることについては、なるほどと、とても感じしました。別の角度が問題を見ることで、新たな解釈ができるのだと思いました。

このような部分がおると、2色で達れない。

自分自身で地図の塗り分けたの法則について考えることは非常に難しかったですが、「マラブはないか?」と思考室誤して、自分なりの解答を考えながら授業を受けることができたので良かったと思います。





